

平成30年 3月3日(土)

しらさぎカップ



3月3日(土)に、三木総合防災運動公園にて、第14回しらさぎカップが行われました。2月末に卒業した3年生5人を含む、14名の部員がBリーグ、Sリーグにそれぞれ出場しました。

あわじSチームは予選リーグの初戦、エストレラとの試合でした。前半は攻め込むもゴールは奪えず、後半運動量が落ちたところを攻め込まれ、0-2で敗れました。2試合目の氷上特別支援学校との試合は、チームでパスをつなぎ、シュートを果敢に打ち、相手の攻撃をなんとか凌いで失点を1におさえましたが、0-1で2連敗となり、惜しくも予選敗退でした。

Bチームは当日の欠席があり、6人での参加でした。初戦は、のじぎく特別支援学校との試合でした。序盤に幸先よく先制し、その後も、3年生がゴールを決め、3-1で勝利しました。2試合目の相手はこやの里特別支援学校でした。予選突破がかかった試合で、3年生がここでも勝負強さを見せ、3-1で2連勝し、決勝トーナメントへ進出しました。

準決勝では、氷上特別支援学校との試合。9月のいなみ野カップでは1-1で引き分けている相手です。6人对8人の試合で、数少ないチャンスをものししようと臨んだ試合でしたが、惜しい場面を作り出すも、最後のところで決めきれず、前半を折り返します。後半は相手の猛攻にさらされますが、キーパーの選手を中心に、最後のところで踏ん張り、0-0のまま終了し、PK戦となりました。先攻のあわじBは、1人目の選手が決めますが、2人目、3人目と立て続けに外してしまいました。ここでも2年生のキーパーが踏ん張りを見せ、サドンデスにもつれ込みます。互いに4人目が決め、5人目をこちらが決めた後攻、相手のシュートを防ぎ、決勝へと駒を進めました。

決勝戦は、芦屋特別支援学校との試合でした。いなみ野カップの3位決定戦、兵庫カップで二度対戦し、いずれも苦杯をなめている相手でした。リベンジを期すべく、最後の試合に臨みました。4試合目ということもあり、6人とも疲労のピークを迎えていました。足が止まってしまう場面や、足が攀ってピッチに倒れこむ場面も見られ、5人で相手の攻撃に耐える時間もありました。相手チームが大応援団の後押しを受けプレーする中、試合が終わったSリーグの選手も大きな声で鼓舞してくれました。両チーム、まさに死闘を尽くした戦いでした。この試合でも、互いにチャンスを決めきれず、0-0で終了し、準決勝に引き続き、PK戦となりました。選手たちは最後の力を振り絞ってPK戦へ。結果、2-0でPK戦を制し、創部4年目にして、念願の初優勝を飾りました。試合終了後は選手・教員・観戦に来て下さった保護者の方全員から満面の笑みがこぼれました。

今大会で今年度の課外活動部が終了しました。最後の最後に大きなプレゼントを勝ち取ることができたのは、卒業した3年生の活躍、それについていった下級生の活躍はもちろんです。が、日頃から、選手たちを支え、応援して下さいました皆様のおかげです。次年度も、あわじ特別支援学校課外活動サッカー部は、皆様から応援される集団を目指し、新たな部員と共に、日々精進し、活動していきたいと思っています。一年間、応援ありがとうございました。